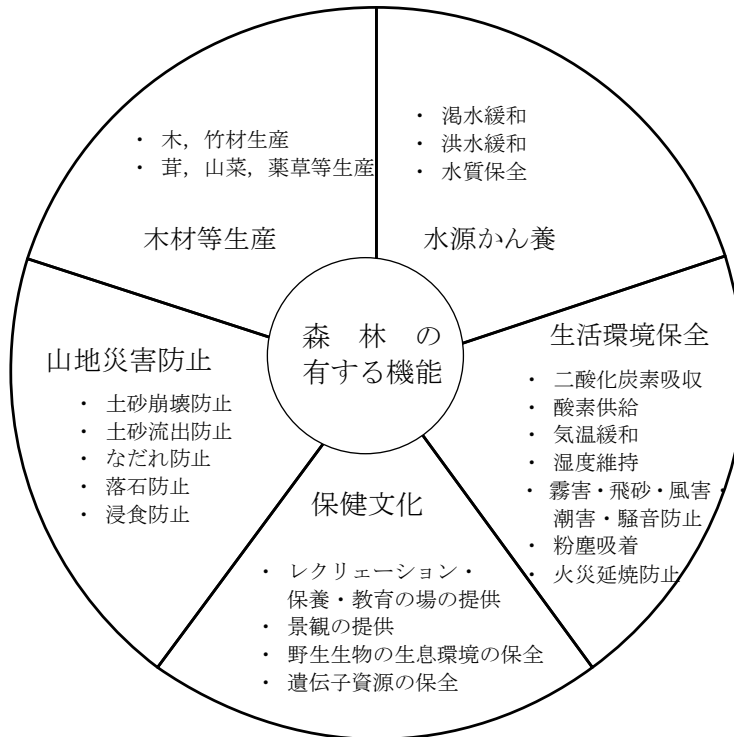


# 森林の有する諸機能と評価

## (1) 森林の有する諸機能



## (2) 森林の有する公益的機能の評価額の試算（年額）

平成12年価格

機能の種類	茨城県	算出根拠	全国
水源かん養機能	降水の貯留 627 億円 洪水の防止 401 億円 水質の浄化 920 億円 計 1,948 億円	① 降水貯留機能： 森林土壌中に降水を貯え、徐々に流出させる機能を、利水ダム（上水道）の維持費及び減価償却費として算出。 ② 洪水防止機能： 森林土壌が降水時の直接流出量を軽減し、豪雨時のピーク流量を低下させる機能を、治水ダムの維持費及び減価償却費として算出。 ③ 水質浄化機能： 森林土壌が雨水中の不純物を吸着し、水質を浄化させる機能を、雨水利用施設（雨水を水道水程度に浄化させる施設）の維持費及び減価償却費として算出	8 兆 7,400 億円 5 兆 5,700 億円 12 兆 8,100 億円 計 27 兆 1,200 億円
土砂流出防止機能	2,409 億円	地表面の侵食を抑制する機能を、砂防ダムを建設し維持させた場合の費用として算出	28 兆 2,600 億円
土砂崩壊防止機能	655 億円	地表面の侵食から生じる崩壊を防止する機能を、治山事業の山腹工事に要する費用として算出。	8 兆 4,400 億円
保健休養機能	293 億円	登山、ハイキング、キャンプ等で余暇を過ごす場としての機能を、森林を楽しむことを目的とした旅行に要する費用として算出。	2 兆 2,500 億円
野生鳥獣保健機能	295 億円	鳥類の生息の場として果たしている機能を、鳥類を人工的に飼育した場合の餌代として算出	3 兆 7,800 億円
大気保全機能	二酸化炭素吸収 96 億円 酸素供給 330 億円 計 426 億円	① 二酸化炭素吸収： 森林の二酸化炭素を吸収する機能を、火力発電所における二酸化炭素回収コストとして算出。 ② 酸素供給： 森林の酸素を供給する機能を、タンクローリーによる酸素取引価格（運搬引渡）として算出。（酸素製造原価に近似）	1 兆 2,400 億円 3 兆 9,000 億円 計 5 兆 1,400 億円
潮害防止機能	320 億円	海岸防災林がない場合、耕地が潮害によってどれくらい農業粗生産額の低下をきたすかを算出（本県独自の評価）	—
合計	6,346 億円		74 兆 9,900 億円

注) 森林の公益的機能の評価額に係る林野庁計画課試算（H12）に基づき、本県の因子を当てはめて試算したものである。